

令和3年度の放射能対策について

No.	取組項目	担当課	令和元年度取組内容	令和2年度取組方針	令和3年度取組方針	令和2年までの実績
1	子どもが多く利用する施設等の定期的な放射線量測定	① 小・中学校	学校教育課 校庭（中央と4隅）や砂場の放射線量を測定。年2回（5月・10月）の測定から令和元年度年1回（5月）の測定に縮小。			○測定値平均（校庭中央・高さ5cm） H28…0.05 μSv/h, H29…0.05 μSv/h H30…0.05 μSv/h, R1…0.05 μSv/h R2…0.05 μSv/h
		② 保育園・幼稚園・子育て支援施設	保育課 子ども発達センター 【保育園・幼稚園・わくわく広場】 園庭や砂場等の放射線量を測定。年2回（5月・10月）の測定から令和元年度年1回（5月）の測定に縮小。 【子ども発達センター】 測定月を他の施設に合わせ5月に実施。	現状どおり測定回数を年1回（測定月…5月）とする。 ただし、当該測定で0.20 μSv/h以上の放射線量が計測された地点は、経過観察のため10月に再度測定を行う。		○測定値平均（園庭中央・高さ5cm） H28…0.06 μSv/h, H29…0.06 μSv/h H30…0.05 μSv/h, R1…0.05 μSv/h R2…0.05 μSv/h
		③ 学童保育室	子ども支援課 敷地内（※屋外のみ）の放射線量を測定。年2回（5月・10月）の測定から令和元年度年1回（5月）の測定に縮小。 【対象施設】 ○根戸小（敷地中央） ○高野山小（敷地中央） ○三小（入口中央）		・施設ごとの区分を取り払い、我孫子地区、天王台地区、湖北地区、新木地区、布佐地区の5地区について、代表点を設定し、そこを定点観測地点として実施。（別紙参照）	○測定値平均（高さ5cm） H28…0.08 μSv/h H29…0.08 μSv/h H30…0.09 μSv/h R1 …0.09 μSv/h R2 …0.07 μSv/h
		④ 公園・子どもの遊び場	公園緑地課 年1回（10月）、全ての公園の放射線量を測定。令和元年度から測定点を各公園の代表点と砂場だけに縮小	現状どおり年1回（10月）、全ての公園の放射線量を測定。		○測定値平均（公園中央・高さ50cm） H28…0.08 μSv/h, H29…0.07 μSv/h H30…0.07 μSv/h, R1…0.08 μSv/h R2…0.07 μSv/h
		⑤ スポーツ施設	文化・スポーツ課 各施設（※屋外のみ）の放射線量を測定。測定月を他の施設に合わせ年1回5月に実施。	現状どおり測定回数を年1回（測定月…5月）とする。 ただし、当該測定で0.20 μSv/h以上の放射線量が計測された地点は、経過観察のため10月に再度測定を行う。		○測定値平均（各施設の代表地点・高さ50cm） H28…0.07 μSv/h, H29…0.07 μSv/h H30…0.07 μSv/h, R1…0.07 μSv/h R2…0.07 μSv/h
		⑥ クリーンセンター（敷地境界）	クリーンセンター 年12回（毎月1回）、敷地境界の放射線量を測定。	年6回（2月に1回）、敷地境界の放射線量を測定。	年2回に、地点数は変更なし	○測定値（最高値、高さ100cm） H30…0.072 μSv/h, R1…0.078 μSv/h R2…0.080 μSv/h
		⑦ クリーンセンター（周辺農地）	農政課 クリーンセンター 年3回（4月・7月・11月）、周辺農地の放射線量を測定。	現状どおり年3回（測定月…4月・7月・11月）、周辺農地の放射線量を測定。 クリーンセンターが検査後、農政課が農家組合へ通知	令和2年度で終了。（農家組合長との協議後）	○測定値（各地点・高さ100cm） H30…0.076 μSv/h（最高値） R1…0.073 μSv/h（最高値） R2…0.072 μSv/h（最高値）
		⑧ 手賀沼周辺	手賀沼課 年1回（10月）、手賀沼周辺14地点の放射線量を測定。	現状どおり年1回（10月）、手賀沼周辺14地点の放射線量を測定。	現状どおり継続	○測定値平均（高さ1m） H28…0.06 μSv/h, H29…0.07 μSv/h H30…0.058 μSv/h, R1…0.066 μSv/h R2…0.071 μSv/h
2	放射線量測定器の貸し出し	手賀沼課 放射線量測定器の貸し出しを希望する市民等に、1泊2日を基本として測定器を貸出。 除染の基準値以上の箇所を発見したとの報告を受けた際には相談に応じ、当該箇所が民有地の場合は必要に応じて土地所有者と対応について協議。	現状どおり継続	現状どおり継続	○貸出件数 H28… 78件 H29… 45件 H30… 24件 R1… 17件 R2… 6件	
3	公共施設の除染（局所的に放射線量が高い箇所への対応）	手賀沼課 施設の所管課 除染の基準値以上の箇所が見つかった場合、施設の所管課と協議のうえ除染等の措置を実施。	現状どおり継続	現状どおり継続	○除染等実施施設 H27… 道路側溝（2箇所97,093円） H28… 泉6号公園（市職員による局所除染） ・市役所本庁舎の駐輪場裏（土のうによる遮蔽） H29… 並木小（市職員による局所除染） 白山中（市職員による局所除染） H30… 柴崎台中央公園局所除染業務委託（154,400円）	
4	自治会などが行う除染活動への支援	手賀沼課 作業に関する相談への対応のほか、必要な用具を貸し出し。	現状どおり継続	現状どおり継続	○支援件数 H28… 0件 H29… 0件 H30… 0件 R1… 0件 R2… 0件	
5	ごみ焼却灰などの放射性物質検査	クリーンセンター ごみ焼却炉の排ガス（月1回）、ごみ焼却灰（月1回）、剪定枝木チップ（月1回）、不燃ごみ（月1回）の放射性物質検査を実施。	現状どおり継続	ごみ焼却炉の排ガスを月1回から年2回に減らし、継続	○R2最大検出値（ベクレル/kg） ◆排ガス…不検出 ◆ごみ焼却灰 ・主灰…200（R3年2月） ・飛灰…957（R2年12月） ◆剪定枝木チップ ・搬入物…353（R2年4月） ・ストックヤード保管物…230（R2年7月） ◆不燃ごみ…27（R2年12月）	
6	廃棄物の放射性物質濃度低減に向けた取り組み	クリーンセンター ごみ焼却灰の放射性物質濃度の上昇を抑制するため、剪定枝木や草等を可燃ごみと分けて回収（※平成24年6月から）。	現状どおり継続	現状どおり継続 ただし、試験的に焼却量を増やし、焼却灰の放射性物質濃度を確認していく。	剪定枝木や草等を可燃ごみと分別回収し一部は業者処分委託し、一部を我孫子市クリーンセンターで焼却することで焼却灰の放射能濃度を抑えている。	

令和3年度の放射能対策について

No.	取組項目	担当課	令和元年度の取組内容	令和2年度の取組方針	令和3年度の取組方針	令和2年までの実績
7	浄水と原水の放射性物質検査	水道局工務課	湖北台浄水場の原水(地下水)と浄水の放射物質検査を月1回実施。(134Cs, 137Cs, 131ヨウ素)	現状どおり継続	現状どおり継続	平成23年3月以降不検出を継続
8	給食食材の放射性物質検査	① 小・中学校	学校教育課 使用前の給食食材の放射性物質検査を実施。放射性セシウムが検出された食材は、食品の基準値を下回っていても給食には使用しない。 <u>ゲルマニウム半導体検出器による精密検査は、これまでの検査で放射性セシウムが検出されたものがないことから、平成30年度で終了する。</u>	・毎月第2月曜日に各校1検体の検査を実施。 ・食材の取りまとめ、結果の集約、公表を学校教育課で行い、検査の実施は農政課は実施。 ・検査及び放射性セシウムが検出された場合の対応は継続。	新しい産地から購入した食材など各校・各園で希望する食材の検査を実施する。結果の公表は必要に応じて実施	○R2年度：第2月曜日に各校1検体、計19検体を農政課に持込、検査を実施 (R3.2月末まで 150検体)
		② 保育園	保育課 使用前の給食食材の放射性物質検査を実施。放射性セシウムが検出された食材は、食品の基準値を下回っていても給食には使用しない。	検査及び放射性セシウムが検出された場合の対応は継続。		○検査施設を輪番とし、水曜日に検査を実施。各園1回につき3検体。
		③ こども発達センター	こども発達センター 使用前の給食食材の放射性物質検査を実施。	現状どおり継続(保育園の検査のローテーションに入れる)		保育園に準じて実施。
		④ あらき園	あらき園	平成30年度で終了		
9	我孫子市産農産物の放射性物質検査	農政課	小・中学校給食に使用するものについて、各品目の①春・夏季(4~9月)と②秋・冬季(10~3月)の各初回納品予定分の放射性物質検査を実施し、安全性を確認。また、農業者からの検査希望に随時対応。	小・中学校給食に使用するものについて、各品目の初回納品予定分の放射性物質検査を実施し、安全性を確認。また、農業者からの検査希望に引き続き対応する。	農業者からの検査希望食材(出荷証明書が必要なため、主にタケノコ)には引き続き対応。 小・中学校給食使用食材については、令和2年度で終了。	○検査検体数 H28... 70検体, H29...100検体 H30...104検体, R1...86検体 R3.2月まで...64検体 (給食以外の農産物検査数含む(タケノコ、米等))
10	農地の放射線量測定	農政課	農業者の意向に沿って、営農している田・畑及び果樹園の放射線量を測定。	現状どおり継続	令和2年度で終了。農家の相談には対応。(測定結果が基準以下であること、過去5年に検査希望がないことから)	○対応件数 H28...0件, H29...0件, H30...0件 R1...0件, R2...0件
11	農地土壌の放射性物質検査	農政課	農業者の意向に沿って、農地の土壌の放射性物質検査を実施。	現状どおり継続	令和2年度で終了。農家の相談には対応。(測定結果が基準以下であること、過去5年に検査希望がないことから)	○対応件数 H28...0件, H29...0件, H30...0件 R1...0件, R2...0件
12	市民等が持ち込む食品・飲料物の放射性物質検査	手賀沼課	手賀沼課に事務移管。外部委託をやめ、市職員が受付や検査等を行う。 また、検査受付日を現状の週2日(月・金曜日)から週1日(月曜日)とする。	現状どおり継続	現状どおり継続	○検査検体数 H28...155検体 H29... 53検体 H30...30検体 R1...31検体 R2...13件
13	小・中学校の健康診断における甲状腺の視診・触診	学校教育課	我孫子医師会の協力を得て、就学時健康診断と小・中学校の健康診断において甲状腺の視診・触診を実施。	現状どおり継続	現状どおり継続	
14	内部被ばく線量測定費用の一部助成	健康づくり支援課	妊婦または平成6年4月2日以降に生まれた方を対象に、内部被ばく線量測定費用の一部を助成(助成額...測定費用の1/2、3,000円限度)。	現状どおり継続	現状どおり継続	○助成件数 H24...297件、H25年度...38件 H26...6件、H27... 2件 H28... 7件、H29... 0件 H30... 6件、R1... 1件 R2... 現在0件
15	甲状腺検査費用の一部助成	健康づくり支援課	平成4年4月2日から平成23年4月1日までの間に生まれ、原発事故当日と検査日において我孫子市に住民登録のある方を対象に、甲状腺超音波検査と血液検査を併せて検査した場合の費用の一部を助成(助成額...5,000円)。	現状どおり継続	現状どおり継続	○助成件数 H28...11件 H29... 0件 H30... 1件 R1... 3件 R2...現在2件
16	原子力損害賠償請求に関する農業者への情報提供	農政課	東京電力に対する原子力損害賠償請求について、農業者から問い合わせを受けた際に情報提供を行う。	現状どおり継続	現状どおり継続	市内農業者へ郵送で問合せ先の情報提供。東京電力の窓口紹介(毎年度年度末に実施)
17	「我孫子市放射能対策会議」の開催	手賀沼課	市長を委員長とする放射能対策の全庁的な意思決定機関。必要に応じて開催。	現状どおり継続	現状どおり継続	
18	メール配信サービスによる情報提供	手賀沼課	市内13小学校の校庭中央と各地区の主な公園の放射線量測定結果を、登録者にメールで配信。	配信を終了し、ホームページでの情報提供で対応する。		H29.1以降配信の実績なし。
19	東京電力への放射能対策経費の賠償請求	手賀沼課	国・県の補助金等の対象とならない放射能対策経費について、東京電力に賠償請求を行う。	現状どおり継続	現状どおり継続	
20	指定廃棄物の長期管理施設の早期確保に係る国への要望	クリーンセンター	関係市と連携を図りながら、長期管理施設の早期確保を国に要望。	現状どおり継続	現状どおり継続	令和2年2月21日、環境大臣あての要望書提出